

国際ロータリー第2750地区 2025～26年度

補助金管理セミナー



国際ロータリー第2750地区 2025～26年度

補助金管理セミナー

ご挨拶

田中 靖 ガバナー

国際ロータリー第2750地区 2025～26年度

補助金管理セミナー

挨拶

皆川明良ロータリー財団委員長

ロータリー財団の誕生(1917年)

諸々の社会奉仕を
今まで通りに実行していくには、
慈善・教育・そのほかの社会奉
仕の分野において**世界でよいこ
とをする**ための基金を作るのが、
極めて適切であると思われる。

ー アーチ・クラフ、1917年



ロータリー財団の定義

ロータリー財団は、ロータリークラブおよび地区を通じて実施され承認された人道的および教育的活動を支援するための寄付を受け、資金を配分する非営利団体である。
(ロータリー財団章典10.010..2011年9月管理委員会会合、決定8号)

ロータリー財団の使命

ロータリー財団の使命は、ロータリー会員が、人びとの健康を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることである。

(2022年手続要覧、ロータリー財団章典10.020.)

ロータリー財団の主な歴史 1/2

- ・1917年 アーチクラフがアトランタの国際大会で「世界でよいことをする」ための基金設立の提案
- ・1917年 カンザスシティRCから最初の寄付 26ドル50セント
- ・1928年 ロータリー財団と正式に命名
- ・1930年 財団の補助金第一号として国際障害児協会へ500ドル寄贈
- ・1957年 ホール・ハリス・フェローの認証開始
- ・1979年 フィリピンの600万人以上の子供にポリオ予防接種をおこなう
- ・1983年 非営利法人となる
- ・1985年 ポリオプラスのプログラム開始
- ・1999年 ロータリー平和フェロー開始

ロータリー財団の主な歴史 2/2

- ・2002年 ポリオ根絶のための募金キャンペーンで1億3千ドルを達成
- ・2012年 2007年にビルゲイツ財団よりの1億ドルのチャレンジ補助金を受領しているが、さらにビルゲイツ財団の2億ドルチャレンジに対して、ロータリーは2億2,800万ドルを達成
これ以降もビルゲイツ財団よりの寄贈が続いている
- ・2020年 コロナに対する財団補助金活用
- ・2021年 シェアシステムの変更（5%をTRFに）
- ・2022年 災害救済基金はウクライナ難民、被災者支援に優先的に活用

..... 現在にいたる

ロータリー財団の評価



ロータリー財団の強固な財務健全性と説明責任並びに透明性へのコミットメントが高く評価されております。

2024～25年度 ロータリー財団管理委員会



マーク・ダニエル・マローニー
2024-25年度管理委員長
2021-25年度管理委員
Decaturロータリークラブ
米国アラバマ州



ジョン・ヒューコ
事務総長兼最高経営責任者
Kyivロータリークラブ
ウクライナ



ホルガー・クナーク
2024-25年度管理委員長
エレクト
2022-26年度管理委員
Herzogtum Lauenburg-
Möllnロータリークラブ
ドイツ

公益財団法人ロータリー日本財団

- ・公益財団法人ロータリー日本財団は、ロータリーの奉仕の理念に基づき、人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることを目的とする。
- ・公益財団法人ロータリー日本財団は、国際ロータリーのロータリー財団の協力財団である。2009年6月11日に一般財団法人として設立され、2010年12月24日、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律(平成18年法律第49号)第4条に基づき、内閣総理大臣より公益財団法人の認定を受けた。



理事長 千 玄室(京都RC)

ロータリー財団の基本的なプログラム



※青少年交換留学生、インターアクト、ローターアクト、RYLA、米山奨学生等
については、ロータリー財団のプログラムではありません。

国際ロータリー第2750地区
2025～26年度 ロータリー財団委員会

ロータリー財団委員会

委員長 皆川 明良

副委員長 柳 邦明

同上 西村 弘之

国際ロータリー第2750地区
2025～26年度 ロータリー財団委員会

財団各小委員会の構成

1. 資金推進委員会 (須田宏樹委員長)
2. 資金管理委員会 (横山宗祐委員長)
3. 補助金委員会 (勝山宏則委員長)
4. ポリオプラス委員会 (尾関 勇委員長)
5. 奨学・学友・VTT委員会 (酒葉乃里子委員長)
6. ロータリー平和フェロースhip委員会
(蓮見雅則委員長)

国際ロータリー第2750地区 2025～26年度 ロータリー財団委員会

1. 資金推進委員会のポイント

- ・年次基金・恒久基金・PHS他の寄付
- ・財団への寄付目標の理解
- ・寄付3年後の各クラブへの補助金還元の理解

2. 資金管理委員会のポイント

- ・MOUの提出
(Memorandum of Understanding)
- ・申請・報告の遵守

国際ロータリー第2750地区 2025～26年度 ロータリー財団委員会

3. 補助金委員会のポイント

- ・地区補助金(DG),グローバル補助金(GG)
- ・支給条件と補助金対象活動の理解

4. ポリオプラス委員会のポイント

- ・毎年開催されるポリオデイへの参加
- ・ポリオ根絶支援企業の募集など
- ・PPS (ポリオ・プラス・ソサエティ)への寄付

国際ロータリー第2750地区
2025～26年度 ロータリー財団委員会

5. 奨学・学友・VTT委員会のポイント

- ・GGを利用した奨学生の募集・選考・派遣
- ・帰国した奨学生の学友会のサポート
- ・VTT(職業研修チーム)の派遣

(Vocational Training Team)

6. 平和フェロウシップ委員会のポイント

- ・ロータリー平和センターで学ぶ学生の支援

(日本では、国際基督教大学)

国際ロータリー第2750地区
2025～26年度 ロータリー財団委員会

補助金申請金額・件数

DG	60件	177,700	\$	1,955万	(三浦G年度)
	65	187,106		2,432	(富澤G年度)
	65	206,311		2,743	(宮崎G年度)
	74	215,336		3,306	(伊藤G年度)

GG 最近増加傾向
7 件承認済 認証待ち 6件

国際ロータリー第2750地区 2025～26年度 ロータリー財団委員会

ロータリー財団 寄付報告

(単位：ドル)

寄付の種類	2024～2025年度 (半年間)			
		① 第2750地区	② 日本全体	① / ②
年次基金	総額	544,588.52	7,132,639.70	8%
	1人あたり	121.15	87.00	139%
ポリオプラス		153,347.24	1,822,312.21	8%
恒久基金		94,808.97	1,290,512.60	7%
その他基金		15,998.42	111,188.49	14%
合計		808,743.15	10,356,653.00	8%
会員数		4,496	81,985	5%

国際ロータリー第2750地区 2025～26年度 ロータリー財団委員会

ロータリー財団 寄付報告

(単位：ドル)

寄付の種類	2023～2024年度 (年間)			
		① 第2750地区	② 日本全体	① / ②
年次基金	総額	\$766,856.69	11,141,160.71	7%
	1人あたり	\$171.21	135.27	127%
ポリオプラス		170,815.08	2,601,078.58	7%
恒久基金		170,053.02	2,306,589.23	7%
その他基金		21,390.82	362,186.64	6%
合計		1,129,115.61	16,411,015.16	7%
会員数		4,479	82,362	5%

国際ロータリー第2750地区
2025～26年度 ロータリー財団委員会

今年度の財団委員会コンセプト

★ロータリー財団への理解をめざす

- ・補助金申請金額・件数
- ・寄付金額・件数
- ・新たな活動の取入れ
- ・ポリオディなどイベント参加者数

国際ロータリー第2750地区
2025～26年度 ロータリー財団委員会

財団資金推進委員会

委員長 須田 宏樹

副委員長 萩 伸雄

委員 笹山 園美

同上 堀口 正義

資金推進委員会

- ・ 財団プログラムの主な資金源となるのが年次基金、恒久基金、ポリオプラス基金の地区目標に向けてご寄付をお願いしております。

各クラブの会長、幹事、財団委員長の方に財団の内容を深くご理解を頂き財団委員会の伝道師としてのご協力をお願い致します。

資金推進委員会

◆ 寄付実績24年7月～24年12月

- ✓ 年次基金100%以上達成 **36**クラブ
- ✓ ポリオプラス **47**クラブ
- ✓ 恒久基金 **31**クラブ

ロータリー財団 2024-25年度 12月末 地区別寄付報告 (単位:米ドル)

地区	会員数	一人当り 年次基金	年次基金	ポリオプラス	恒久基金	その他の基金	合計寄付額	前年度 同月比
2500	2,179	62.48	136,143.71	38,504.67	2,866.81	3,150.00	180,665.19	69%
2510	2,272	66.41	150,886.92	24,847.78	35,332.87		211,067.57	93%
2520	1,962	55.57	109,023.22	17,042.34	55,559.15	1,512.00	183,136.71	133%
2530	2,123	50.02	106,198.37	35,220.67	7,472.86		148,891.90	123%
2540	1,109	27.30	30,276.39	4,838.26	595.61		35,710.26	103%
2550	1,526	95.23	145,315.59	46,124.55	136,788.73	3,150.00	331,378.87	175%
2560	1,984	84.51	167,662.52	34,771.88	1,170.85	1,050.00	204,655.25	107%
2570	1,531	108.51	166,127.95	78,797.60	168,296.63		413,222.18	212%
2580	2,997	98.54	295,315.52	92,105.62	82,308.50	17,462.09	487,191.73	111%
2590	1,814	122.75	222,659.70	52,788.07	56,788.73	10,000.00	342,236.50	116%
2600	1,773	87.84	155,742.94	45,277.44	8,765.67	526.08	210,312.13	102%
2610	2,422	66.53	161,136.96	22,683.12	3,666.22		187,486.30	142%
2620	2,786	86.42	240,778.28	60,180.41	26,398.47	6,849.86	334,207.02	118%
2630	3,056	81.79	249,946.46	36,350.05	35,440.19	5,250.00	326,986.70	101%
2640	1,512	63.61	96,180.65	35,368.92	15,285.79	1,890.00	148,725.36	127%
2650	4,115	107.35	441,750.22	82,667.96	34,620.08	66.67	559,104.93	98%
2660	3,380	136.42	461,115.64	145,292.40	82,418.96	10,038.40	698,865.40	94%
2670	2,760	58.52	161,512.92	33,862.81	99,170.60		294,546.33	141%
2680	2,467	67.80	167,257.46	47,418.38	27,636.01	2,119.48	244,431.33	53%
2690	2,865	78.32	224,379.61	74,926.08	5,000.00	127.05	304,432.74	90%
2700	3,095	45.60	141,126.03	47,289.56	806.03	1,169.54	190,391.16	142%
2710	3,087	90.85	280,444.15	62,585.50	28,586.66	6,510.00	378,126.31	92%
2720	2,269	71.23	161,627.76	34,970.71	4,000.00	4,011.12	204,609.59	87%
2730	2,329	31.56	73,507.30	12,916.66	3,000.00	591.67	90,015.63	93%
2740	2,043	42.30	86,421.09	27,937.24	4,000.00		118,358.33	143%
2750	4,495	121.15	544,588.52	153,347.24	94,808.97	15,998.42	808,743.15	101%
2760	4,485	120.52	540,521.96	132,092.95	42,962.05	10,338.95	725,915.91	110%
2770	2,198	138.78	305,030.31	79,794.58	75,367.38	6,015.90	466,208.17	122%
2780	2,305	128.57	296,356.44	78,501.07	59,150.95	1,120.42	435,128.88	142%
2790	2,643	96.89	256,090.95	56,085.51	39,241.28	2,100.00	353,517.74	117%
2800	1,466	64.75	94,926.45	15,187.38	5,900.00		116,013.83	93%
2820	1,815	147.12	267,014.99	66,970.31	23,220.38		357,205.68	111%
2830	1,088	47.91	52,122.64	15,180.78	22,812.42		90,115.84	137%
2840	2,034	70.53	143,450.08	30,383.71	1,073.75	140.84	175,048.38	95%
日本	81,985	87.00	7,132,639.70	1,822,312.21	1,290,512.60	111,188.49	10,356,653.00	108%
世界	1,134,303	55.76	63,244,802.02	17,137,029.96	22,312,099.05	14,336,068.46	117,029,999.49	
日本の 割合	7.23%	-	11.29%	10.64%	5.78%	0.78%	8.85%	

ロータリー財団 寄付

寄付の分類

- ・年次基金

平和の推進、教育支援、平和推進などの活動

- ・恒久基金

恒久基金は元金は維持され、果実たる収益を使用

- ・ポリオプラス

ポリオ根絶活動の支援

- ・ロータリー災害救援基金

災害救援、復興活動に使用

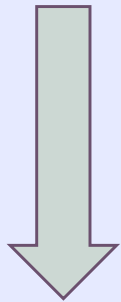
- ・その他の基金

グローバル補助金等への拠出、平和センター指定寄付など

シェア・システムによって、 年次基金は配分されます

WF (World Fund)
国際財団活動資金

グローバル補助金(GG)他



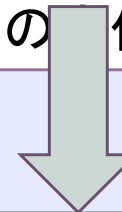
世界中のロータリークラブ
で使われています。

47.5:47.5
シェア

年次基金は、この2
つの活動資金に
シェアされ、寄付年
度の3年後にいろ
いろなプロジェクト
に使われます。

DDF (District Designated
Fund)
地区財団活動資金

地区補助金(DG)
グローバル補助金の地区負担分、
RI第2750地区ロータリー奨学金、
ロータリー平和フェローシップ、ポ
リオ・プラスへの寄付 他



地区内のロータリークラブで使わ
れています。

すべての寄付が、世界中で使われています。

ロータリー財団 寄付

ロータリーカードでの寄付

・オリコ個人利用金額 × 0.3%

・オリコ法人利用額 × 0.5%

・ダイナースクラブカード利用金額 × 0.3%

・ダイナース個人カード利用金額 × 0.3%



ポリオ根絶活動資金へ

ロータリー財団 認証 1/2



認証の分類

・ポール・ハリス・フェロー (Paul Harris Fellow **PHF**)

年次基金、ポリオプラス他に累計1,000ドル以上寄付した方

・ベネファクター (**Benefactor**)

恒久基金への寄付または誓約額1,000ドル以上の方

・メジャードナー (Bmajor Donor **MD**)

累積寄付の合計 1万ドル以上で個人または御夫妻に対して

・アーチ・クランフ・ソサエティ

(Arch Klumph Society **AKS**)

累積寄付額が25万ドル以上で個人または御夫妻に対して

ロータリー財団 認証 2/2

認証の分類

・ポール・ハリス・ソサエティ (Paul Harris Society **PHS**)

年次基金、ポリオプラス、財団承認の補助金プロジェクトに一括でも合計でも毎年1,000ドル以上の支援をした方

・遺贈友の会 (Bbequest Society)

遺産計画で10,000ドル相当以上を恒久基金としてご寄付を誓約した個人または夫妻の方

・レガシーソサエティ (Legacy Society)

恒久基金に100万ドル以上の寄付(遺贈)した個人または夫妻の方



地区表彰について

RI 第2750 地区では、ロータリー財団への寄付について以下の3 つの表彰を行ないます

1) 寄付総額上位 3 位までのクラブ

2) 年次基金一人あたりの平均寄付額上位 3 位までのクラブ

3) 財団への地区寄付目標 3 部門の達成クラブ
(年次基金、恒久基金、ポリオプラス基金)

国際ロータリー第2750地区
2025～26年度 ロータリー財団委員会

ポリオプラス委員会

委員長	尾関 勇
副委員長	黒瀧 直昭
同上	圓井 順子
委員	清原 元輔 矢野 幸一
	樽見 伸二 野川 直貴
	利根川 竜一

ポリオプラスプログラム

1985年、ロータリーは、全世界で
ポリオの根絶をめざす
「ポリオプラスプログラム」
を設置しました。

ポリオプラスの「プラス」の意味は、最初はチフスや破傷風等の5つの伝染病のことを指していましたが、その後、ポリオの研究によって得ることのできた多くの研究結果のことを指すようになりました。



ポリオプラスプログラム



ポリオとは

- ・正式名称「急性灰白髄炎」一般名「脊髄性小児麻痺」
- ・ポリオウイルスによって、人から人へのみ感染する。
- ・ウイルスには自然界に存在する野生株ウイルスと人工的に作られたワクチン株ウイルスがある。
- ・手足が麻痺、筋肉が萎縮して極端に細くなる。
呼吸筋が侵され自発呼吸が出来なくなる事もある。
- ・治療法はなくワクチンによる予防のみが有効である。
- ・手足が麻痺・日本では1960～61年をピークに、その後ワクチン投与が定期的に行われ、2000年に根絶が宣言される。
- ・2007年の規定審議会で、ポリオ根絶を国際ロータリーの最優先の目標にすることが承認される。

ポリオワクチン



経口生ワクチン

ポリオウイルスの病原性を弱めてつくったワクチン。ポリオに感染した時とほぼ同様の仕組みで強い免疫が出来る。まれにポリオを発症する事がある。

経口投与なので訓練を受ければ資格のない人でも投与出来る。



不活化ワクチン

ポリオウイルスを不活化(=殺し)病原性を無くし免疫つくるのに必要な成分を取り出したワクチン。ウイルスとしての働きはないので、ポリオを発症する事は無い。

注射による投与なので、医師等資格のある人でないと投与出来ない。



GPEI: 世界ポリオ根絶推進活動

Global Polio Eradication Initiative

POLIO GLOBAL
ERADICATION
INITIATIVE

1988年 ローターリーがポリオプラスプログラムに、寄付目標の倍以上である2億4700万ドルを集めたことをきっかけに、世界中の子供たちにポリオの予防接種を提供し、世界からポリオを根絶する事を目的に設立される。

〈パートナー団体〉 WHO(世界保健機構)
UNICEF(国連児童基金)
CDC(米国疾病対策センター)
RI(国際ロータリー)



U.S. Centers for Disease
Control and Prevention



野生株によるポリオ発症件数の推移



Source	Period	Wild virus type 1 confirmed cases										
		Full year total						01-Jan - 21-Jan ¹			Date of most recent virus	
		2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2023	2024		2025
▲	Year											
Afghanistan	アフガニスタン	21	29	56	4	2	6	25				05-Nov-2024
Pakistan	パキスタン	12	147	84	1	20	6	73			2	31-Dec-2024
Islamic Republic of Iran												
Malawi					1							19-Nov-2021
Mozambique						8						10-Aug-2022
TOTAL (TYPE 1)		33	176	140	6	30	12	98	0	0	2	
Tot. in endemic countries		33	176	140	5	22	12	98				
Tot. in non-end countries					1	8						
No. of countries (infected)		2	2	2	3	3	2	2				
No. of countries (endemic)		2	2	2	2	2	2	2				
Total Female		18	72	59	2	10	4	42				
Total Male		15	104	81	4	20	8	56				

ポリオ根絶宣言 3年間の野生株でのポリオ発症ゼロが証明され、WHO(世界保健機関)が根絶宣言をして世界中のポリオワクチン接種は終了する。

ポリオプラス委員会からのお願い



一人30ドルのポリオプラス基金へのご寄付

当地区でのポリオプラス基金への寄付目標は一人30ドルとなっております。

ポリオ根絶支援企業の募集

株式会社 甲信商工 高橋 甲子夫 様(代表取締役)	有限会社 黒滝産業 黒滝 直昭 様(代表取締役)	インターナショナル青和 株式会社 竹内 秀夫 様(代表取締役)	ミカコ建設工業 株式会社 西原 美夏子 様(代表取締役)	株式会社 ミタカロジスティクス 宮崎 陽市郎 様(代表取締役)	ドットワン 合同会社 木村 太一 様(代表取締役)	医療法人社団MAY 白金高輪 海老根ウィメンズクリニック 海老根 真由美 様(代表取締役)	ゼフィールⅢ 内田 智 様(代表取締役)	医療法人 オレンジ歯科クリニック 三宮 純一 様(代表取締役)	株式会社 ケイアンドエム 地主 光滋 様(代表取締役)
------------------------------	-----------------------------	---------------------------------------	---------------------------------	---------------------------------------	------------------------------	---	-------------------------	---------------------------------------	--------------------------------

株式会社 金井建設	株式会社 ニコニコパワ	医療法人社団 アカシア会	株式会社 三和	株式会社 アズビル	株式会社 仲栄商事	株式会社 DAM	株式会社	医療法人社団
-----------	-------------	--------------	---------	-----------	-----------	----------	------	--------

2024-25年度実績
1口50,000円のご寄付が
67企業80口
合計4,000,000円

中央ビルサービス 株式会社 奥田 直智 様(代表取締役)	武蔵野観光開発 株式会社 渡邊 智 様(代表取締役)	有限会社 ボーアンドボン 佐藤 隆 様(代表取締役)	株式会社 更科堀井 更科 隆 様(代表取締役)	有限会社 稲城防災設備 稲城 隆 様(代表取締役)	株式会社 緑ヶ丘 緑ヶ丘 隆 様(代表取締役)	平塚商事 株式会社 平塚 隆 様(代表取締役)	株式会社 大東建物管理 大東 隆 様(代表取締役)	サブホテルズ 株式会社 豊 隆 様(代表取締役)	株式会社 プレイス 浅川 直行 様(代表取締役)
------------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	----------------------------	------------------------------	----------------------------	----------------------------	------------------------------	-----------------------------	-----------------------------

誠にありがとうございました

株式会社 山上商事 長坂 博隆 様(代表取締役)	千代田運輸 水野 功 様(代表取締役)	株式会社 エルフ商事 柳 邦明 様(代表取締役)	弁護士法人 山下江法律事務所 山下 江 様(代表取締役)	今井建設工業 株式会社 今井 順一 様(代表取締役)	株式会社 土屋隆建築設計事務所 土屋 隆 様(代表取締役)	森永産業 有限会社 高見澤 幸也 様(代表取締役)	株式会社 フロンティア建設 藤 雅香 様(代表取締役)	株式会社 小野 小野 邦寿 様(代表取締役)	株式会社 やまと 矢野 朝則 様(代表取締役)
-----------------------------	------------------------	-----------------------------	------------------------------------	-------------------------------	-------------------------------------	------------------------------	-----------------------------------	---------------------------	----------------------------

株式会社 JTS 岡部 秀樹 様(代表取締役)	クレコリサーチ& コンサルティング 株式会社 木村 文治 様(代表取締役)	CaN International 税理士法人 大久保 昭平 様(代表取締役)	ヒューマンネットワークサービス 株式会社 明山 友美 様(代表取締役)	株式会社 吉田工務店 吉田 伸幸 様(代表取締役)	株式会社 教育ソフトウェア 神戸 涼次 様(代表取締役)	株式会社 デワキボ社ビルサービ 佐藤 敏夫 様(代表取締役)	株式会社 フロンティア建設 藤 雅香 様(代表取締役)	株式会社 小野 小野 邦寿 様(代表取締役)	株式会社 ジュエリーパレット 矢野 幸一 様(代表取締役)
----------------------------	---	---	---	------------------------------	------------------------------------	--------------------------------------	-----------------------------------	---------------------------	-------------------------------------

有限会社 若菜園 熊澤 和幸 様(代表取締役)	株式会社 丸八ホールディングス 岡本 典之 様(代表取締役)	CaN International 税理士法人 大久保 昭平 様(代表取締役)	ヒューマンネットワークサービス 株式会社 明山 友美 様(代表取締役)	株式会社 吉田工務店 吉田 伸幸 様(代表取締役)	株式会社 教育ソフトウェア 神戸 涼次 様(代表取締役)	株式会社 デワキボ社ビルサービ 佐藤 敏夫 様(代表取締役)	医療法人社団 福神会 柴田産婦人科医院 柴田 穂一 様(代表取締役)	株式会社 アムス 高橋 茂樹 様(代表取締役)	YGX 合同会社 後藤 康之 様(代表取締役)
----------------------------	--------------------------------------	---	---	------------------------------	------------------------------------	--------------------------------------	--	----------------------------	----------------------------

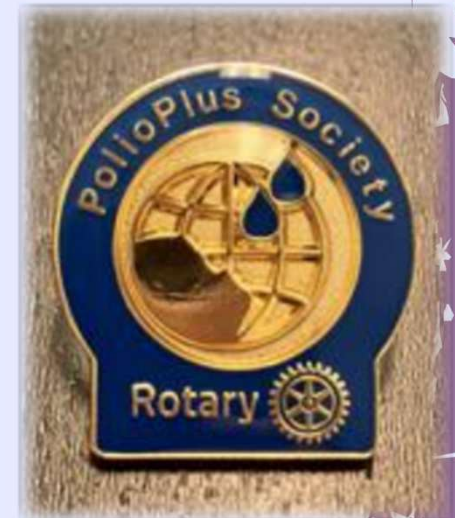
The PolioPlus Society

ポリオプラス・ソサエティの紹介



毎年ポリオプラス基金へ100ドルのご寄付をお約束して頂けるロータリアンに登録証とソサエティメンバーのピンバッジをお送りさせていただきます。

すでに多くの国々のロータリアンが参加して頂いております。



ポリオ根絶チャリティーゴルフへのご参加

2025年3月31日(月)

東京よみうりCCにて開催予定

主催 東京八王子北ロータリークラブ



世界ポリオデーのご紹介



今年度は、公共イメージ委員会、ロータリー財団委員会等で協力して
2024年10月20日の日曜日にEND POLIOの赤いTシャツを着て「世界ポリオデー2024」を開催。



世界ポリオデーのご紹介



- ・ アークヒルズカラヤン広場に400名ほどのロータリアン関係者が集まり、カラヤン広場から麻布台ヒルズを通るポリオウォークを実施しました。
- ・ また、キッチンカーの出店や、各委員会による縁日やTシャツ販売などブースを出したり、あらいぐまラスカルのぬいぐるみが子供たち好評。
- ・ 港区御成門中学校ブラスバンド部の演奏や、ポリオの会の皆さんとローターアクター、ロータリアンとのパネルディスカッションも行い、盛況でした。
- ・ ポリオ根絶に向けた正しい知識を「改めて」発信できたのではないかと実感し、伊藤ガバナーは、「こうした気付き、同じイベントにinvolveされる一体感、共感する達成感はとても大事で、今回の大きな成果のひとつだと思う」と語っています。

世界ポリオデーのご紹介



国際ロータリー第2750地区
2025～26年度 ロータリー財団委員会

奨学・学友・VTT委員会

委員長	酒葉乃里子
副委員長	佐藤 秀樹 杉浦 藤一郎
委員	鎚木 孝和 森田 彰
	大友 敬 狩集 英昭
	岩本 弘光 楊 錦華
	Bob Kelley

奨学金プログラム

創設者ポールハリスが逝去した後18か月間に会員から寄せられた100万ドル以上の寄付があり、国際理解を育むことを目的として大学院留学のために奨学金として1947年に提供され、

ロータリー財団最初のプログラム となりました。

その後も教育での支援は続き、国際親善奨学生などを経て、現在では7つの重点分野を専攻する学生に、グローバル補助金を活用して支援しています。

ロータリー奨学生

奨学金プログラム



クラブとの関り

援助国側(派遣側)実施国側(受入側)の各地区 / クラブが協力することが重要な要件のひとつ。

クラブの役割 ⇒ 援助国側： 補助金の申請/提供、奨学生のサポート
実施国側： 奨学生の受け入れ、現地での生活に関するサポート

奨学生の役割 ⇒ 双方のクラブ例会での卓話、イベントへの参加
実施地域の奨学生との交流などロータリーとの連携
修了報告書の提出、帰国後の学友会への参加



学友の活動

大学院を修了した後、重点分野で測定可能かつ持続可能な変化をもたらすために、長期的に活動や仕事をすることを目標に活躍されています。

勤務先 日本国大使館、JICA国際開発機構、WHO、UNWOMEN、国内外の病院など



国連事務次官
中満泉さん



宇宙飛行士
山崎直子さん



学友の活動



学友会ニュースレターより
2013-14年度 高尾涼子さん

2013-14年度にロータリー財団奨学生として、英国London School of Economics (LSE)に派遣され、現在は、WFP(国連世界食糧計画)でプログラム・ポリシー担当官として勤務している高尾(田口)涼子さんにお話を伺いました。

2022年4月よりフィリピンのマニラに駐在し、フィリピン南部ミンダナオ島にあるバンサモロ・ムスリム・ミンダナオ暫定自治地域(BARMM)で食糧支援に携わっています。フィリピンは、日本企業も多く進出し、セブ島などのリゾート地のイメージが強いかもしれませんが、ミンダナオ島では40年以上も武力紛争が続いていました。2014年にフィリピン政府と「モロ・イスラム解放戦線(MILF)」との間で包括的な和平合意となりましたが、現在は自治政府樹立に向け、日本政府やJICA等のほかWFPを始めとした国連機関が支援を行っています。長期的な紛争の影響を受け、マニラやセブ地域ではそれほどではありませんが、BARMMでは65%が貧困層であり極めて貧しい地域です。つまり食糧自給率が低く、栄養も足りていないため、日々摂取が必要な食糧供給の手助けが必要です。私たちが届ける食糧のうち米が一番多いですが、Cash for Workといって、現金を渡すこともあり、それによって受益者が自分で必要なものを購入できる手助けをしています。

重点分野別派遣人数

平和構築と紛争予防 14名

疾病予防と治療 11名

水と衛生 3名

母子の健康 2名

基礎教育と識字率向上 7名

地域社会の経済発展 14名

環境 1名

重点分野で
2014-2024年に
派遣した人数
52名

2011-25年度 財団奨学生輩出実績(2024.11現在)

輩出地区、所在国	人数
2750	52
Guam	1
Japan	51
2650(京都, 福井, 滋賀, 奈良)	37
Japan	37
2590(横浜, 川崎)	34
Japan	34
5890(米テキサス)	33
United States	33
2780(横浜, 川崎を除く 神奈川)	32
Japan	32



輩出国	合計 / 人数
United States	857
Japan	494
Canada	123
Italy	105
Australia	71

留学先国	合計 / 人数
England	945
United States	454
Netherlands	133
France	75
Scotland	73

当地区は2021年の前回調査時に続き

輩出数世界一

(データソース: TRF本部)

奨学生の募集について

下記要領で行いますので、優秀な方がいらっしゃいましたらご推薦ください。

期 間	<u>2025年7月1日から9月30日</u>
人 数	4～6名
奨学金	4万米ドル(DDF+WF)
奨学金期間	1年間

【お問合せ先】

国際ロータリー第2750地区

ロータリー財団奨学学友VTT委員会

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階

E-mail. sekine@rid2750.org

FAX. 03-5472-2750

国際ロータリー第2750地区
2025～26年度 ロータリー財団委員会

・ロータリー平和フェロウシップ委員会

委員長 蓮見 雅則

副委員長 近藤 修一

委員 杉浦 藤一郎 村重 盛紀
花嶋 孝司 平田 久子
市浦 哲 Pablo Puga
和田直也



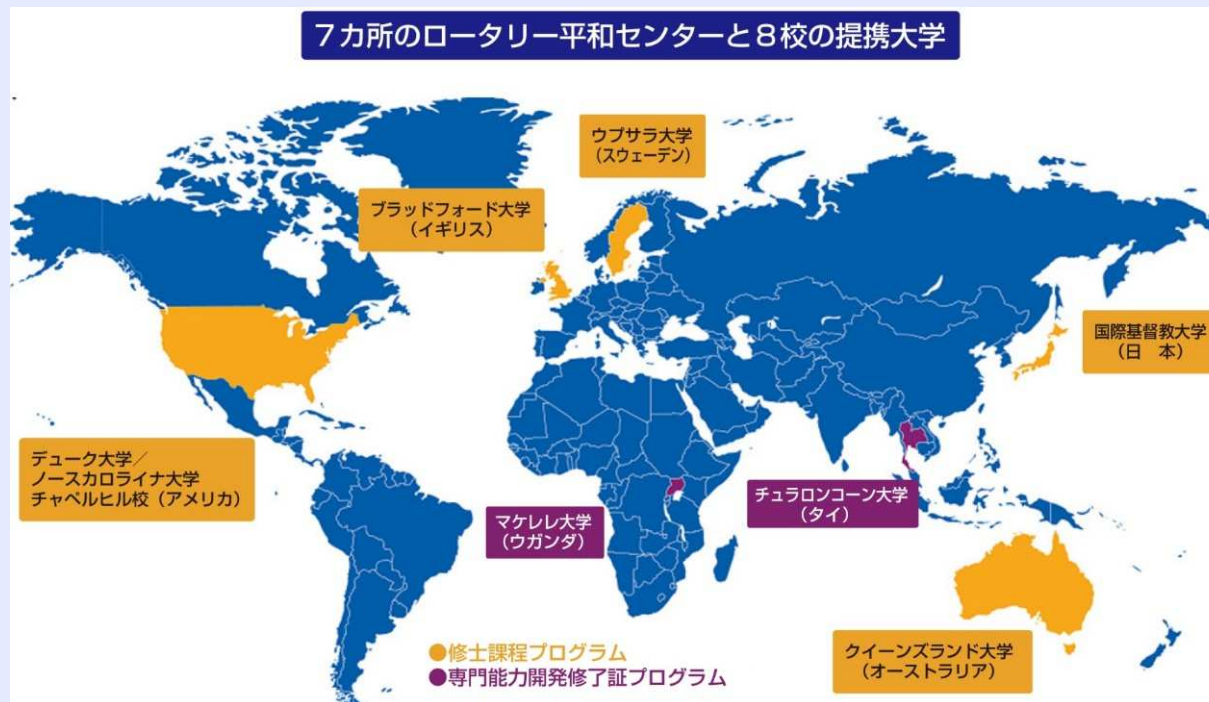
ロータリー平和センター プログラムとは

世界各地で協力と平和を推進し、紛争解決に貢献するリーダー、平和フェローを育成することを目的とした奨学金プログラムです。

1999年

ロータリー平和センタープログラムを創設

ロータリー平和センタープログラムは、平和構築と紛争予防・解決の分野で活躍するリーダーを育成するためのフェローシップ（奨学金）を提供します。




ホストエリア

- 2580地区(東京・沖縄)
- 2750地区(東京・北マリアナ諸島・グアム・ミクロネシア・パラオ)
- 2590地区(神奈川)
- 2780地区(神奈川)
- 2770地区(埼玉)
- 2790地区(千葉)

2750地区の現役平和フェロー

第22期〔The 22nd class〕

	名 前	出身国	性別	カウンセラー	所属クラブ
	イザベル グティエレス Isabel Gutierrez	アメリカ合衆国 USA	F	村重 盛紀 Seiki Murashige	東京三鷹 Tokyo Mitaka

第23期〔The 23rd class〕

	名 前	出身国	性別	カウンセラー	所属クラブ
	サンボウ モモドゥ Sambou, Momodou	ガンビア Gambia	M	蓮見 雅則 Masanori Hasumi	東京三鷹 Tokyo Mitaka
	ネオピトウ マリナ Neophytou, Marina	キプロス Cyprus	F	南條 勉 Tsutomu Nanjyo	東京あけぼの Tokyo Akebono

平和フェローとカウンセラー初顔合わせ



フェローオリエンテーション



平和フェローたちの活躍



1700人以上の平和フェロー学友が、平和構築のために115ヶ国以上で活躍しています。学友は、政府機関や教育・研究機関、国際的組織(国連など)でリーダーとして仕事をしています。



本プログラム動画をご覧いただけます。

rotary-peace.jp



ご清聴ありがとうございました。

補助金委員会

2025-26年度委員長 勝山 宏則(東京品川RC)

**2025-26年度
補助金管理セミナー
地区補助金について**

補助金委員会の役割

1. ロータリー財団の地区補助金を利用するにあたってのルールがあります。
2. 提出書類等もいくつか必要です。
3. 地区内のクラブの皆さんがスムーズに地区補助金を利用していただくお手伝いをします。

地区補助金(DG)とは

地域社会、海外でその地域のニーズを満たす短期のプロジェクト(人道的、教育的、環境保全等)に使用できる補助金です。



地区補助金のスケジュール

	2024-25年度	2025-26年度
2月6日		補助金管理セミナー
4月1日		補助金受付開始
4月末	プロジェクト終了期限	
5月末	報告書最終締め切り	補助金受付締め切り
6月末	2750地区報告書TRFに提出	
		TRFに補助金申請
8月		承認後、プロジェクト開始
		補助金振り込み
2025/4月末		プロジェクト終了
2025/5月末		報告書最終締め切り
2026/6月末		2750地区報告書TRFに提出

ローターリークラブの支給基準

3年前のクラブの寄付実績を元に

- ①一人当たりの年次基金150ドル未満 1500ドルまで
但し、3年前のクラブ寄付金総額を限度とする
- ②一人当たりの年次基金150ドル以上250ドル未満 2500ドル
 - 一人平均が250ドル以上350ドル未満 2800ドル
 - 一人平均が350ドル以上450ドル未満 3100ドル
 - 一人平均が450ドル以上 3400ドル
- ③3部門達成だと 800ドル上乘せ
- ④クラブ寄付合計が 20,000ドル以上だと 1000ドル上乘せ
クラブ寄付合計が 30,000ドル以上だと 1500ドル上乘せ

ローターアクトクラブの支給基準

- | | |
|-------------|--------|
| 1. 3年前の寄付ゼロ | 0ドル |
| 2. 150ドル未達成 | 750ドル |
| 3. 150ドル達成 | 1500ドル |

尚、恒久基金を除きロータリークラブ並みの寄付が行われた場合にはロータリークラブの支給基準に準ずる(会員数10名以上)

補助金支給の条件と注意点

1. **ロータリアンが積極的、直接的に参加するプロジェクトであること**
(ロータリーのプロジェクトである事が目に見えて識別できること)
2. クラブ拠出金の支出をお願いします。金額は問いません。
3. **プロジェクトの実施は、2025年8月1日以降で、最終実施日は2026年4月30日までとします。**

この期間以外のプロジェクトに関する支払いはできません。

4. 補助金支給金額はあくまでも上限とし、ご自身のクラブが必要とする補助金申請をお願いします。
5. 報道機関、クラブ会報、Webサイト等でプロジェクトを広報してください。
6. 補助金申請の際はドル申請とします。換算レートは2025年4月のロータリーレートとします。支給は申請時のレートで支給します。

7. プロジェクト終了後1ヶ月以内に最終報告書を提出してください。
8. 「ロータリー財団地区補助金とグローバル補助金授与と受諾の条件」を遵守すること
9. 地区補助金の申請は1クラブ1件とします。但し、クラブ合同プロジェクトで代表クラブではないクラブは、別途他の地区補助金申請が可能となります。

地区補助金事業の制約事項

ロータリー財団が定めたルールにより、以下の目的には地区補助金が適用されません。詳しくは「ロータリー財団地区補助金の授与と受託の条件」をご覧ください。授与と受託の条件を超えない範囲で、地区独自の裁量において、適合範囲を決めています。

1. **特定の受益者、団体、地域社会に対する継続的または過度の支援**
※同一プロジェクトあるいは、同一受益者に2年続けて実施することはできません。
2. 土地及び建物の購入
3. **募金活動**(募金活動が付随しても良いが、募金活動に補助金の使用は不可)。
4. 地区大会、創立記念式典などのロータリー行事に関連する経費
5. 人道的活動または教育的活動に直接関連していない広報
6. 1,000ドルを超えるプロジェクトの標識(ロータリーの盾、ロゴ、ステッカー、看板等)
7. **他団体の運営費、管理費、間接プログラム経費**
8. **受益者からの金銭の受領**

9. 受益者や協力団体への使途無指定の現金寄付

→使途指定の現金寄付を行った場合は協力団体の情報、購入品や設置場所の写真、購入した全ての品の領収書と請求書のコピーを添付した協力団体からのロータリークラブ宛の領収書が必要

10. 既に進行中または完了した活動と経費

11. ロータリアン、ロータリークラブ、ロータリー関係組織、ロータリーの職員、更にこれらの全ての者の配偶者・直系卑属・直系卑属の配偶者、直系尊属に直接利益をもたらすこと

青少年交換学生を支援するプロジェクトを計画する場合の留意点

1. 補助金の対象となる費用 → 青少年交換学生の経費（国内旅行、活動費、学用品費等）
2. 補助金の認められない経費 → 青少年交換学生の生活費（食費、小遣い等）、引率するロータリアンの経費、ホストファミリーに対する支払

※尚、2750地区では独自のルールとして、RYLAに対する補助金は適用できない事としています。インターアクトの奉仕プロジェクトのための補助金申請はスポンサークラブの申請となります

プロジェクト開始前のご留意事項

1. 補助金専用口座の確認

- ①プロジェクト専用口座をお使いください。
- ②補助金利用プロジェクトに関わるすべての入出金を専用口座にて行ってください。
- ③専用口座は、0にしてプロジェクトを開始し、終了時には0にしてご報告ください。
- ④補助金入金前にプロジェクトを開始されるクラブは、専用口座にクラブ拠出金及び必要であれば補助金相当額を入金いただき、プロジェクト終了時に、専用口座から補助金該当額をお戻しください。
専用口座からすべての出し入れが記録されることが重要です。

プロジェクト開始前のご留意事項

2. その他の事項

- ①他団体との共催の場合、他団体の広告や他団体が継続して使うものの購入、他団体の運営費に充当することのないようにしてください。
- ②プロジェクトの受益者およびプロジェクトに関する支払先にロータリアン、ロータリアン関係者、家族、所属する会社等が含まれないようにしてください。

プロジェクト実行中のご留意事項

1. 申請時と実行時の大幅なプロジェクト内容の変更について

申請時と実行時、報告時でプロジェクトの内容の大幅な変更はできません。

大幅な内容の変更があった場合は、基本的に返金処理になります。

地区補助金委員会及び地区資金管理委員会が、やむを得ない変更と認める場合もありますので、変更可能性が判明した時点で、必ず補助金委員会にご相談ください。

※予算の変更、受益者の変更、支払先の変更、実施場所の変更
申請にない物品の購入 等

プロジェクト実行中のご留意事項

2. 予算の変更について

- ①当初計画より支出額が大きくなった場合
不足額をクラブ拠出金にて対応してください。
- ②支出額が少なくなった場合
 - ・クラブ拠出金の減額
 - ・クラブ拠出金を0にしてもまだ残金がある場合
残金が100ドル以上 余った金額全額を返金
残金が100ドル未満 クラブニコニコへ

いずれも事前に補助金委員にご相談ください。

プロジェクト実行中のご留意事項

3. 寄贈品について

寄贈品には、可能な限り「ロータリー徽章」及び「ロータリークラブの名前」を明記ください。

例) プレート、シール、立て札 等

※これらは、オクトンでも注文できますが、ロゴマークは、My Rotaryからダウンロードしてお使いいただいても結構です。使い方については、公共イメージ委員会より指針がありますので、お問合せください。

※上記については、すべて合わせて上限\$1,000までとなります。

プロジェクト実行中のご留意事項

4. 海外でのプロジェクトについて

地区補助金、グローバル補助金に関わらず、すべての補助金プログラムは、クラブが主体(主催)あるいは共催のプロジェクトである必要があります。「共催」は名前だけでなく、プロジェクトの立案、計画、実行のすべてに深く関わることを言います。

コロナ下において、海外でのプロジェクトの場合、主体となって、あるいは共催としてプロジェクトに深く関わるのが、実行中に難しくなることがありました。このことに十分ご留意いただいてプロジェクトを成功に導いてください。

考えられる事例

- ① 実際の実行は、現地の団体や企業に任せており、運営自体、把握できない
- ② 自国ではないので、現地の様子が全くわからず、自らが管理できない
- ③ 現地の団体や企業を管理しきれず、実行内容が大幅に変更になった
- ④ 寄贈する予定のものが入手できず、別のものを寄贈した。
- ⑤ 現地が予算として考えていて、ある物品が安くなったため、他のものを購入した（注1）
- ⑥ 予算として考えていたため、あるものを安く購入し、別のものを高額なものに変更した（注2）

※注1）、注2）に関しては、海外に限らず、日本国内でも問題になることがあります。

現地の協力団体への現金寄付にならないようご注意ください。

報告時のご留意事項

1. クラブが主体となって、プロジェクトを実行した証明について

すべての補助金プログラムは、クラブが主体(主催)あるいは共催のプロジェクトである必要があります。「共催」は名前だけでなく、プロジェクトの立案、計画、実行のすべてに深く関わることを言います。

クラブが主体となって行ったことは、報告時の写真や広報資料等で判断できます。これらの資料を報告時には必ずご用意ください。

- ・受益者とクラブメンバーの写真(プロジェクト実行時、引き渡し式等)
- ・現場での活動の様子のわかるもの(写真や広報資料)
- ・クラブ名が表示されているプレートやシール等(寄贈品や植栽等)
- ・クラブ宛ての、受益者からの感謝状や手紙
- ・広報資料(クラブのWebページ及びそれ以外の新聞記事等の資料)

報告時のご留意事項

2. 提出期限について

・報告書の提出期限は、プロジェクト終了後、1か月以内です。報告書が完了しないと、新しい年度の補助金申請を承認することができず、新年度のプロジェクトの実行に影響しますので、必ず1か月以内のご提出をお願いいたします。

なお、何らかの理由で遅れる場合、もしくは可能性がある場合は、必ず事前に補助金委員会にご報告、ご相談ください。

オンライン報告書に添付するもの

- ①領収書(銀行振り込みの場合を含むすべての支払い)
- ②プロジェクトに関する写真、新聞記事、Webページ等のプロジェクトの全体がわかる資料
- ③補助金専用口座の表紙と明細のコピー
- ④補助金委員会もしくは資金管理委員会より依頼する各種の書類(必要な場合)

地区補助金委員会と資金管理委員会の 裁量範囲について

- ◆ 授与と受託の条件をベースに、その範囲を超えない、かつ地区側で新たに制限を加えています。
 - ・地区独自の裁量においては、各プロジェクトの適合内容の判断は地区の補助金委員会で行っています。
 - ・授与と受託の条件以外では、前年度の内容や問題点により、あるいは他の地区で、本部の監査委員に指摘された情報を入手し、指摘がある前に事前に委員会で範囲を決める場合があります。
 - ・適合、不適合については、常にロータリー財団日本事務局とも連携をとっています。
 - ・授与と受託の条件の記述内容の解釈や判断については、地区の補助金委員会及び資金管理委員会にお任せください。

※上記にはハンドブックに掲載されていない内容も含まれることがあります。そのようなケースに該当される場合、担当者からご連絡申し上げます。

授与と受託の条件における 利害の対立について (Conflict of interest)

授与と受託の条件に記載されている「利害の対立」は、ロータリー財団章典に記載されています。

ロータリー財団章典における利害の対立（1）

▼ 10.030. Conflict of Interest Policy for Program Participants

プログラム参加者の利害対立についての方針

All individuals involved in a program grant and/or award shall conduct their activities in a way that avoids any actual or perceived conflict of interest. A conflict of interest is a relationship among individuals through which an individual involved in a program grant or award causes benefit, or could be perceived to cause benefit, for such individual or such individual's family, personal acquaintances, business colleagues, business interests, or an organization in which such individual is a trustee, director, or officer. This conflict of interest policy shall be applied in the following circumstances as specifically set forth below. The application of this conflict of interest policy shall not be limited to these circumstances.

プログラムの補助金および/または授与に関わるすべての参加者は、利害の対立を実際に引き起こす、あるいは利害の対立を疑われることのない方法で活動を行うものとする。利害の対立とは、プログラム補助金の受領や授与にかかわる者が、自分やその家族、知人、仕事上の同僚、事業上の利益、または自身が管理委員、理事、役員を務める組織に恩恵を与える、または恩恵を与えると疑われる可能性のある個人間の関係を指す。利害の対立に関する方針は、以下に具体的に示す諸状況において適用されるものとする。利害の対立に関する方針の適用は、これらの状況に限定されるものではない。

ロータリー財団章典における利害の対立 (2)

1. Award Recipient Eligibility 受領資格

Pursuant to section 9.3 of the TRF bylaws, those individuals defined below shall not be candidates or final award recipients or beneficiaries of any TRF program. Such individuals shall include current Rotarians and honorary Rotarians; employees of clubs, districts, and other Rotary Entities (as defined in the *Rotary Code of Policies*) or of Rotary International; spouses, lineal descendants (children or grandchildren by blood, legal adoption, or marriage without adoption), spouses of lineal descendants or ancestors (parents or grandparents by blood) of persons in the foregoing categories; and employees of agencies, organizations, or institutions partnering with TRF or RI.

ロータリー財団細則の第 9.3 項に従い、以下の者はロータリー財団プログラム補助金の受領候補者、受領者または受益者となることができないものとする。受領資格のない者には、以下が含まれる:ロータリアン、名誉ロータリアン、クラブ・地区・その他のロータリー組織(「国際ロータリー章典」に規定)・国際ロータリーの職員、上記の者の配偶者・直系卑属(血縁、養子縁組、再婚による子または孫)・直系卑属の配偶者・直系尊属(血縁による親または祖父母)、およびロータリー財団または国際ロータリーと提携関係にある機関・組織・団体の職員。

ロータリー財団章典における利害 の対立（3）

Former Rotarians and honorary Rotarians shall continue to be ineligible for a period of 36 months after termination of their membership. Persons who were ineligible based on their familial relationship to a former Rotarian or honorary Rotarian shall continue to be ineligible for a period of 36 months after termination of their family member's membership. Notwithstanding the foregoing, such individuals shall be eligible to participate on vocational training teams and in individual travel for humanitarian projects (when such individuals are determined to be qualified) funded by district grants, global grants, and packaged grants.

元ロータリアンおよび元名誉ロータリアンは、会員資格の失効後 36 カ月間は、引き続き受領資格を持たないものとする。元ロータリアンまたは元名誉ロータリアンの家族であることを理由に受領資格がなかった者は、その家族の会員資格の失効後 36 カ月間は、引き続き受領資格を持たないものとする。上記にかかわらず、これらの者は、地区補助金、グローバル補助金、およびパッケージ・グラントによって賄われる職業研修チームや人道的プロジェクトを目的とした渡航（適格であると判断された場合）への参加資格を有するものとする。

特にご注意いただくこと

- ◆ 1. 前年度と同じプロジェクト、同じ受益者には実施できません
- ◆ 2. 現金寄付又は寄付目的の行事には使用できません
- ◆ 3. 8/1から4/30の期間に実施してください
- ◆ 4. 承認後のプロジェクト内容の変更はできません
- ◆ 5. 補助金専用口座ですべての入出金を行ってください
- ◆ 6. 受益者から金銭を受け取ってははいけません

	グループ	担当		担当			責任者	
DG	千代田	★森本 由美	麻布				今村 恵 (日本橋)	
	銀座日本橋	★山本 直道	サンライズ汐留					
	京浜	★菊地 照巳	羽田					*久保 徹行
	山の手東	★後藤 康之	米山友愛	(若尾 尚美)	愛宕	*松島 綾子	青山	豊福 佐江子 (愛宕)
	山の手西	★山崎 武一郎	クロスシティ	*安福 良直	山の手	*福原 和枝	青山	
	多摩南	★矢沢 直樹	町田東	★片桐 貴行	八王子東			高井 信也 (小金井さくら)
	多摩中	★上原 和	小金井	*輿水 香	武蔵国分寺			
	多摩東	★内藤 善久	武蔵府中					
	RAC	★劉 韋岑	西RAC	*河本 悟志	日本橋RAC			勝山 宏則 (品川)
	PBG	★若尾 尚美	愛宕	(後藤 康之)	米山友愛			
		(山本 直道)	サンライズ汐留	(森本 由美)	麻布			
	GG		★後藤 康之	米山友愛	森本 由美	麻布		
		山本 直道	サンライズ汐留	若尾 尚美	愛宕			

2～3グループをチームで担当していただきます。ご自身の所属グループのほか近隣グループも担当してください。

★の担当者はチームリーダーです。*は新任委員です。責任者は正副委員長が担当します。

2025-26年度 補助金管理セミナー

地区補助金

オンライン申請の手順について

2025年2月3日





国際ロータリー第2750地区のイベント

活動一覧



「世界ポリオデー2024」が盛大に開催されま

ポリオ根絶は国際ロータリーの最優先事項であり、世界中のロータリー会員が手掛けている活動です。国際ロータリー第2750地区のポリオ根絶活動の一環として、2024年10月20日（日）に「世界ポリオデー2024」を開催しました。当日は少し肌寒くも...



補助金委員会をクリック

国際ロータリー-第2750地区 | Rotary x 国際ロータリー-第2750地区財団委員 x

https://rid2750.org/trf/

セミナー情報/ニュースリリース

- 2023.4.15 [2023-24年度の財団ハンドブックをアップロードしました。](#)
- 2023.2.16 [2022-23年度寄付実績をアップロードしました。](#)
- 2022.10.8 [2022-23年度版のロータリー財団ハンドブックをアップロードしました](#)
- 2022.7.1 [2023-24年度 ロータリー奨学生の募集要項はこちら](#)
- 2021.7.8 [2022-23年度 ロータリー奨学生の募集要領はこちら](#)
- 2021.4.1 [2021-22年度版 ロータリー財団ハンドブックをアップロードしました。](#)
- 2021.4.1 [2020-21年度ロータリー財団セミナー及び2021-22年度補助金管理セミナーのQ&A及び関連資料をアップしました。](#)
- 2021.3.22 [2021-22年度 補助金申請関連（オンライン申請及びWORD/EXCEL申請一式）をアップしました。](#)
- 2021.2.12 [2020-21年度 地区補助金報告書一式をアップロードしました。](#)

資料・申請書

- [ロータリー財団委員会](#)
- [資金推進委員会 \(2023.06.07\)](#)
- [資金管理委員会](#)
- [補助金委員会-Grants SubCommittee \(2023.7.26update\)](#)
- [奨学学友VIT委員会 \(2023.7.01\)](#)
- [ポリオ・プラス委員会 \(2020.8.27\)](#)
- [ロータリー平和フェロースhip委員会 \(2021.07.01\)](#)

国際ロータリー-第2750地区 | Rotary x 補助金委員会-Grants SubComm

https://rid2750.org/trf/2019/07/04/補助金委員会/

The Rotary Foundation

補助金委員会-Grants SubCommittee (2023.7.26update)

2019.7.4

2023.7.26 ☆New

●2023-24年度 補助金

2023.4.1 ☆New

●2023-24年度 地区補助金オンライン申請URL

2023.3.28

補助金管理セミナーの資料をアップロードしました。

資料・申請書

- ロータリー財団委員会
- 委員会 (2023.06.07)
- 委員会
- 補助金委員会-Grants SubCommittee (2023.7.26update)
- 奨学学友VIT委員会 (2023.7.01)
- ポリオ・プラス委員会 (2020.8.27)
- ロータリー平和フェロシップ委員会 (2021.07.01)

ここにを入力して検索

ウォッチリストのアイデア

17:28
2024/01/25

2月下旬に
オンライン申請シミュレーションがUP
されます



RID2750ロータリー財団 補助金委員会



2024-25年度 DG申請書・報告書データベース

申請書/報告書

申請書/報告書をクリック
クラブIDとPASSが必要です



⇐戻る ⇒進む +展開 -省略 🔍検索

グループ別


グループ名	クラブ名	承認番号	開始日	終了日	補助金合計	提出	審議中	仮承認	承認
▼*選択してください*					0				0
<u>*選択してください*</u>					0				0

⇐戻る ⇒進む +展開 -省略 🔍検索

新規申請書を作成するため
ここをクリック

新規作成 編集/開く 保存 閉じる

アクセス者：jun michida/ ← ここにクラブIDが表記されます

 ローターリー財団地区補助金(DG)申請書
R12750地区 補助金委員会

▶ 申請書

「新規作成」をクリック
*一時保存し再編集も可能です

新規作成 編集/開く 保存 閉じる

アクセス者：jun michida/



ロータリー財団地区補助金(DG)申請書

R12750地区 補助金委員会

申請書

Status

承認番号：

申請書

2024-25年度地区補助金申請用(2024年4月1日～5月31日)

ロータリークラブ	グループ： *選択してください*	クラブ名： *選択してください*	担当委員：自動入力されます
プロジェクト名	<input type="text"/>		
実施場所	<input type="text"/>		
期間 (西暦)	予定開始日： <input type="text"/>	～	予定終了日： <input type="text"/>

プロジェクトの概要

1. このプロジェクトで何をしますか。

2. このプロジェクトの恩恵を受ける人々の数はどのぐらいですか。(ロータリアン以外)

3. プロジェクトの受益者は誰ですか、またどのような恩恵を受けますか。

4. このプロジェクトに何名のロータリアンが参加する予定ですか。

5. これらのロータリアンは何を行いますか。プロジェクトへの財政的支援を除き、その具体例を少なくとも2つ挙げてください。

6. このプロジェクトを実施することにより地域社会に対してどのような長期的影響が期待できますか。

まずはグループを選択

アクセス者：jun michida/



ロータリー財団地区補助金(DG)申請書
R12750地区 補助金委員会

申請書

status

承認番号：

申請書

2024-25年度地区補助金申請用(2024年4月1日~5月31日)

日：

ロータリークラブ	グループ	▼ *選択してください*	③	クラブ名： *選択してください*	④	担当委員：自動入力されます
プロジェクト名		千代田G				プロジェクト名
実施場所		銀座・日本橋G				実施場所
期間(西暦)	予定開始日	京浜G		~	予定終了日	期間(8/1~4/30以内)

プロジェクトの概要

1. このプロジェクトで何をしますか。

2. このプロジェクトの恩恵を受ける人々の数はどのぐらいですか。(ロータリアン以外)

3. プロジェクトの受益者は誰ですか、またどのような恩恵を受けますか。

4. このプロジェクトに何名のロータリアンが参加する予定ですか。

5. これらのロータリアンは何を行いますか。プロジェクトへの財政的支援を除き、その具体例を少なくとも2つ挙げてください。

6. このプロジェクトを実施することにより地域社会に対してどのような長期的影響が期待できますか。

グループを選択し、

次に所属クラブを選択

プロジェクトの概要

1~7までを入力

収支予算書 使用通貨 = JPY  ※計算処理結果は一度「保存」してください。

取入源	通貨	金額
1. 地区補助金申請額		0
2. クラブ拠出金		0
3. その他の資金 (具体的に記入)		0
		0
		0
		0
		0
プロジェクトのための取入合計額		0

財団ハンドブックを確認し、
必要な補助金額を入力

クラブ拠出金を入力

収入合計を確認

支出 (具体的にお書きください。) 使用通貨 JPY  為替レート 110 4月のレート

予算項目	業者名	通貨	金額
1.			0
2.			0
3.			0
4.			0
5.			0
6.			0
7.			0
8.			0
9.			0
10.			0
11.			0
12.			0
13.			0
14.			0
15.			0
16.			0
17.			0
18.			0
19.			0
20.			0
プロジェクト支出合計額			0
プロジェクト総予算 (US\$換算)		US\$	0.00

見積書に相当する予算項目を入力

支出合計を確認

19.				0
20.				0
プロジェクト支出合計額				0
プロジェクト総予算 (US \$換算)			US \$	0.00

●補助金振込口座情報（専用口座をご記述ください）

銀行名		支店名		口座番号		口座種別	普通 <input checked="" type="radio"/>
口座名義	専用口座の情報を入力			口座フリガナ			

●プロジェクト連絡担当者：補助金の管理を行うロータリアンを2名記載して下さい。

連絡担当者名		クラブでの役職	
E-mail		電話番号	
連絡担当者名		クラブでの役職	
E-mail		電話番号	

クラブ担当者の情報を入力

●ロータリークラブ会長、クラブ財団委員長として本プロジェクトの実施決定を確認し、記名をお願い致します。

クラブ会長氏名		確認日	
クラブ財団委員長氏名		確認日	

クラブ会長、財団委員長の情報を入力

●アップロードファイル

ファイルを選択

必須の資料を添付する
添付書類は冒頭に「申請」と明記

※アップロードを行ったら、下記にチェックを入れてください。また、ファイル名の先頭に「申請」と入れてください。

①見積書（必須）

②補助金専用口座通帳コピー（必須）

③受益者資料

④参加団体資料

⑤その他

添付後、確認のため①～⑤をチェック

※アップロードファイルは、画面の一番下に表示されます。

●チェック項目

※下記の各項目を確認し、該当する項目で「○」を選択してください。

①2021-22年度に地区補助金（DG）を使用した場合、その報告書は提出済みである	<input checked="" type="radio"/>
②見積書の宛先はクラブ名になっている。	<input checked="" type="radio"/>
③2022年5月のロータリーレートを記入している。	<input checked="" type="radio"/>
④開始日～終了日は8月1日～翌年4月30日の範囲である。	<input checked="" type="radio"/>
⑤合同プロジェクトを除き、同年度中の申請はこの1件だけである	<input checked="" type="radio"/>
⑥受益者が団体の場合、概要が知れる資料（パンフレットなど）を添付してある	<input checked="" type="radio"/>

④参加団体資料

⑤その他

※アップロードファイルは、画面の一番下に表示されます。

●チェック項目

全て「○」になるように
申請作業の確認をしてください

※下記の各項目を確認し、該当する項目で「○」を選択してください。

①2021-22年度に地区補助金 (DG) を使用した場合、その報告書は提出済みである	<input type="radio"/>
②見積書の宛先はクラブ名になっている。	<input type="radio"/>
③2022年5月のロータリーレートを記入している。	<input type="radio"/>
④開始日～終了日は8月1日～翌年4月30日の範囲である。	<input type="radio"/>
⑤合同プロジェクトを除き、同年度中の申請はこの1件だけである	<input type="radio"/>
⑥受益者が団体の場合、概要が知れる資料（パンフレットなど）を添付してある	<input type="radio"/>
⑦補助金管理口座は専用口座であり、残高はゼロ羅0羅となっている。	<input type="radio"/>
⑧前年度と異なるプロジェクトである。また受益者も異なるプロジェクトである。	<input type="radio"/>
⑨受益者は、ロータリアン、その親族、関係者以外の者になっている。	<input type="radio"/>
⑩プロジェクトには、募金活動（チャリティ活動、資金集め等）を含んでいない内容の申請である。	<input type="radio"/>
⑪プロジェクトに関わるロータリアンの経費（交通費、入場料、食費等）は見積から除外されている。	<input type="radio"/>
⑫支出先業者にロータリアン及びその家族の経営又は勤務する会社等を含まない。	<input type="radio"/>
⑬プロジェクト広報のための経費は見積もりから除外されている。	<input type="radio"/>

●すべての必要情報が揃いましたら、下記の「提出」を選択して保存してください。

未提出 「提出」を選択し、画面のトップへ移動します

※保存ボタンは、画面のトップにあります。

●クラブ様と担当委員とのやりとりには、下記をご利用ください。

担当委員とのメモ欄としてご活用ください

ただしアナウンス機能がありませんので、
連絡についてはメールでお知らせください

※やりとりの日付をご記入ください。

▼報告書



ロータリー財団地区補助金(DG)報告書
R12750地区 補助金委員会

新規作成 編集/開く 保存 閉じる

アクセス者：jun richida/



ロータリー財団地区補助金(DG)申請書

R12750地区 補助金委員会

申請書

申請書を入力後に「保存」ボタンを選択

status

再作業の場合は「編集/開く」を選択し、作業再開

承認番号：

いずれも「保存」後には「閉じる」を選択

申請書

2023-24年度地区補助金申請用(2023年4月1日～5月31日)

ロータリークラブ	グループ： *選択してください*	クラブ名： *選択してください*	担当委員：自動入力されます
プロジェクト名			
実施場所			
期間(西暦)	予定開始日：	～	予定終了日：

プロジェクトの概要

1. このプロジェクトで何をしますか。

2. このプロジェクトの恩恵を受ける人々の数はどのぐらいですか。(ロータリアン以外)

3. プロジェクトの受益者は誰ですか、またどのような恩恵を受けますか。

4. このプロジェクトに何名のロータリアンが参加する予定ですか。

5. これらのロータリアンは何を行いますか。プロジェクトへの財政的支援を除き、その具体例を少なくとも2つ挙げてください。

オンライン申請開始までのスケジュール

- ◆ 2月3日 補助金管理セミナー
- ◆ 2月下旬 クラブIDとパスワードを配布
本マニュアルを補助金ページにUP
オンライン申請シュミレーション版利用可
- ◆ 4月1日午前 2025-26年度オンライン申請開始

2025-26年度 補助金管理セミナー

グローバル補助金について (GG)

2025年2月3日



後藤 康之 委員 / 東京米山友愛RC

次のいずれかに該当するクラブは、**補助金支給の対象外**とします

- 3年前の年次基金への一人あたりの**平均寄付額が0円**だった
- 2024-25年度の**補助金管理セミナー**を欠席した
- 2024-25年度に**地区とのMOU**を締結していない

グローバル補助金 (GG)とは

- ロータリーの**7つの重点分野**に該当する活動
- **持続可能な成果**をもたらす活動
- **測定可能な成果**をもたらす活動
- 予算額**30,000ドル**以上の大規模なプロジェクト
- 海外の**パートナークラブ**と協同

以上に該当する**人道的なプロジェクト**を支援します

* ただし補助金委員会の担当分

GGの対象となるプログラムの条件

1) 7つの重点分野に関連した人道的プロジェクト

- ・平和構築と紛争予防
- ・疾病予防と治療
- ・水と衛生
- ・母子の健康
- ・基本的教育と識字率向上
- ・地域社会の経済発展
- ・**環境の保全**

2) 事前調査によるニーズの証明

地域のニーズを正確にかつ具体的に
証明するための事前調査を行う

3) 持続可能なプロジェクト

補助金終了後も地域社会の人々が自力でニーズに
取り組めるよう支援することによって長期的な解決策をもたらす

4) 測定可能なプロジェクト

評価に用いる基本データを記録し、少なくとも3年間、
どのような変化がもたらされたかを具体的に示せる

5) 報告書

プロジェクト期間は1年以上でも問題ないが、

12ヶ月毎に中間報告書を提出する必要あり

最終報告書はプロジェクトは終了後**2ヶ月以内**に提出

6) 「ロータリー財団地区補助金と

グローバル補助金授与と受諾の条件」を遵守

7) プロジェクト総額が**30,000ドル**以上

GG補助金額と予算イメージ

2つの
補助金

地区財団活動資金(DDF)だけでなく
国際財団活動資金(WF)からも、
プロジェクト予算として使用できます

試算例

援助国側クラブとして2,000ドルを拠出すると、
地区財団活動資金(DDF)より20,000ドル(最大10倍より)、
国際財団活動資金(WF)より16,000ドル(DDFの80%)、
プロジェクト合計額は38,000ドルとなります

GGの申請について

My Rotaryからログインし、**オンラインで申請**します

- ①参加する→②補助金センター→③補助金の申請と進み、
- ④グローバル補助金を選択

「グローバル補助金 オンライン申請手続き」に申請内容の詳細が記載されています

地区DDFを使用する場合はオンライン申請を行い、申請データをPDF化して、補助金委員会にDDF申請し、承認を得てください

ガバナー、ロータリー財団委員長の署名が必要です

オンライン申請は、クラブの**プロジェクト担当者**が直接入力し、**パートナークラブ**や**TRF担当者**とやりとりする必要があります

GG申請@My Rotary

には、手助けしてくれるリソースと参考資料があります！

リソース&参考資料

- **グローバル補助金ガイド (PDF)**
- 地域調査の方法 (PDF)
- 協力団体の賞書 (ワード)
- グローバル補助金 小口融資プロジェクトに関する補足書式 (ワード)
- グローバル補助金申請のテンプレート (ワード)
- グローバル補助金 計算表 (XLS)
- グローバル補助金 地域社会調査の結果フォーム (ワード)
- グローバル補助金 モニタリングと評価の計画 (PDF)
- グローバル補助金 小口融資プロジェクト報告書の補足書式 (ワード)
- グローバル補助金 奨学金の補足資料 (PDF)
- ローターアクターによるロータリー補助金の利用：よくある質問
- 補助金センターのご利用ガイド (PDF)
- 補助金センターのご利用ガイド：グローバル補助金奨学生 (PDF)
- 補助金による旅行に関する情報
- グローバル補助金の流れ
- 持続可能なプロジェクトの立案6つのステップ (PDF)
- ローター財団 グローバル補助金 授与と受諾の条件 (PDF)
- グローバル補助金 研修計画 (ワード)
- 職業研修チームの日程表 (ワード)
- 職業研修チーム：メンバー申請書 (ワード)

重点分野のリソース

- 重点分野の基本方針 (PDF)
- 「基本的教育と識字率向上」グローバル補助金 授与のガイドライン (PDF)
- 「疾病予防と治療」グローバル補助金 授与のガイドライン (PDF)
- 「地域社会の経済発展」グローバル補助金 授与のガイドライン (PDF)
- 「母子の健康」グローバル補助金 授与のガイドライン (PDF)
- 「平和構築と紛争予防」グローバル補助金 授与のガイドライン (PDF)
- 「水と衛生」分野のグローバル補助金 授与のガイドライン (PDF)
- 「環境」グローバル補助金 授与のガイドライン (PDF)

ツール

- 補助金の申請プロセスを始める
- フォーラムで世界中のロータリアンとつながろう
- ローター補助金担当職員 (PDF)



目次

はじめに	4
活動の種類	
グローバル補助金の要件	
クラブの資格認定	
1 長期的な影響をもたらす	8
持続可能性	
地域社会のニーズと強み	
重点分野: 真の変化をもたらすために	
2 パートナーシップで最大の効果を生む	14
パートナーシップの要件	
提唱者の役割	
協力団体	
3 プロジェクトを立案する	17
プロジェクト計画を立てる	
測定可能な目標を定める	
財務管理計画を作成する	
資金を調達する	
4 補助金を申請する	24
はじめよう	
補助金の対象とならないプロジェクト	
5 プロジェクトを実施、モニタリング、評価する	28
プロジェクトを実施する	
モニタリングと評価	
財務の透明性	
審査、視察、監査	
6 中間報告と最終報告	35
報告要件	
7 サポートを得る	37

GGの特徴

地域から世界へ **より大きなインパクトを!**

DG(地区補助金)は、
私たちクラブが拠出する資金(0円～)や補助金(2,000～5,000ドル)を
利用して、所属する地域の奉仕活動に使用します

GG(グローバル補助金)は、
私たちクラブが拠出する資金(2,000ドル～)や補助金(36,000ドル～)を
利用して、7つの重点分野、大きな資金規模、海外クラブとの協同により、
私たちの行く事の出来ない場所で、実施する事の出来ない奉仕活動に使
えます

GGの申請受付期間

今年度のDDF申請受付期間

2025年 3月1日～2026年 1月31日

随時受付ですが、DDF予算額に達した時点で終了します

最後に、

GGは、クラブとTRFとの直接のやりとりになりますが、
補助金委員会では申請から終了までをサポートします

計画の早い段階でご相談ください

グローバル補助金の流れ

申請

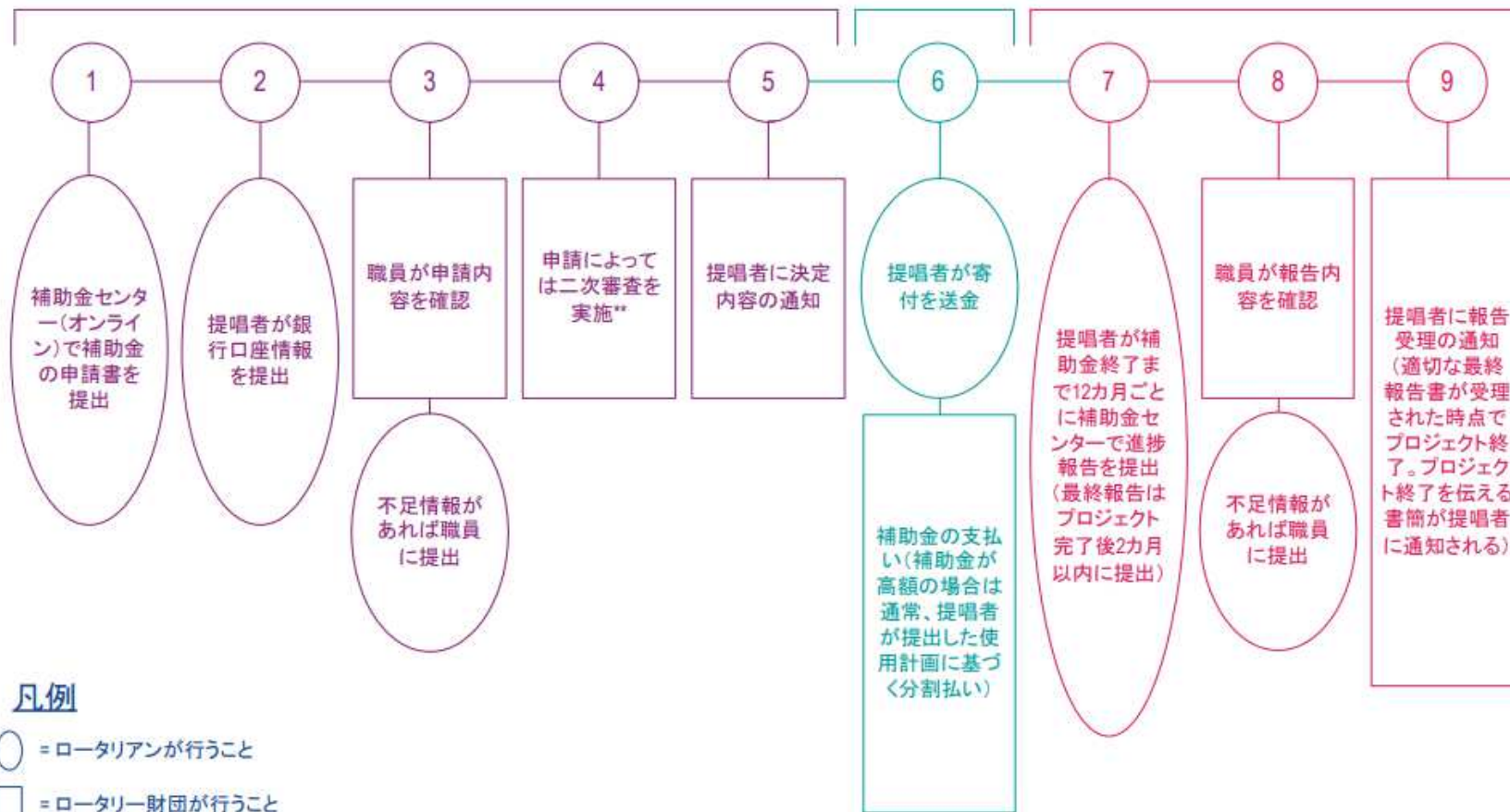
不備のない申請書をロータリー財団が受理した場合、申請書の受理から承認までに約4週間かかります。*

支払い

ロータリー財団が現金寄付を受理した時点から、補助金の支払いまで約2~4週間かかります。*

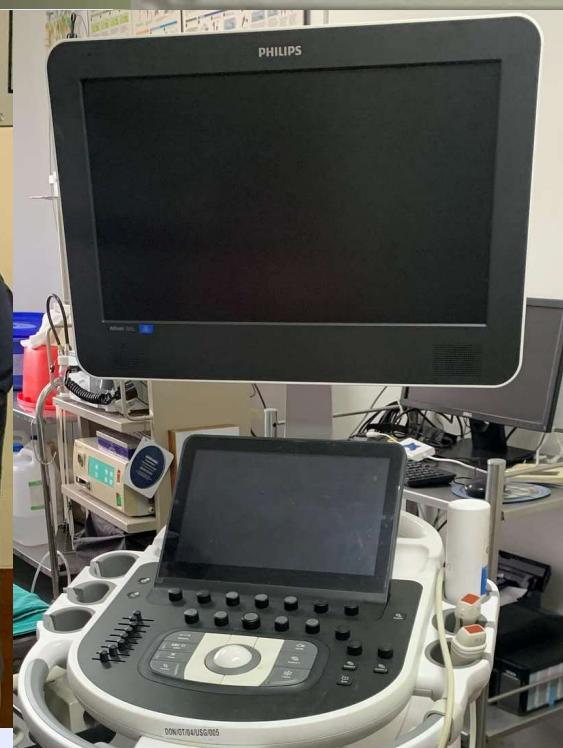
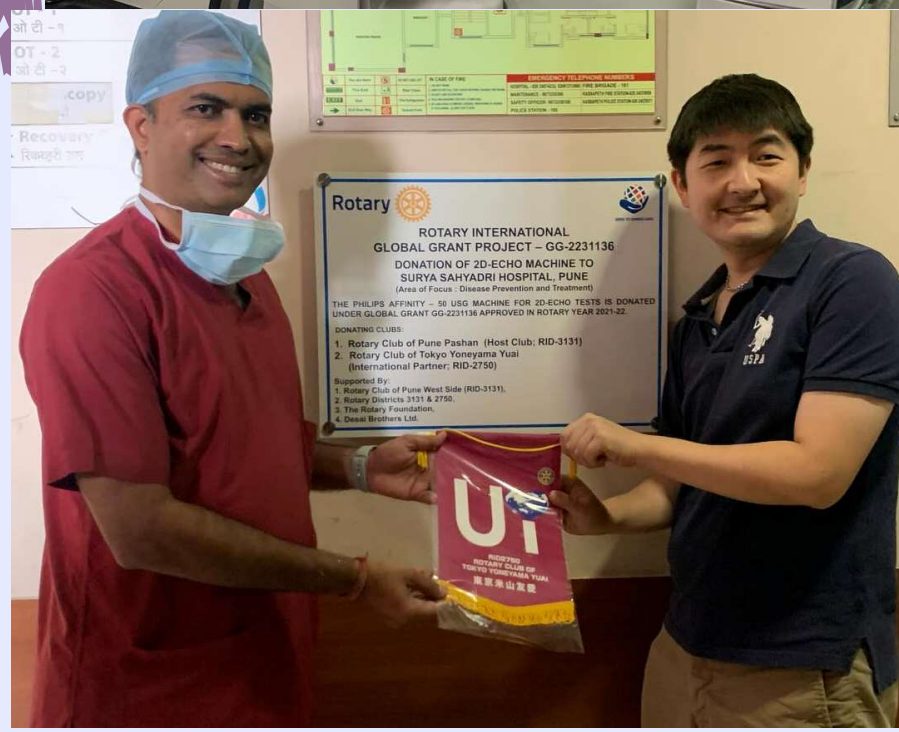
報告

ロータリー財団が報告を受理してから8週間以内に、先着順で職員が内容を確認します。*



* 申請が集中する時期は、さらに日数がかかる場合があります。

** 上乗せ額が50,000ドルを超える申請は、ロータリー財団専門家グループによる審査が行われ、200,000ドルを超える場合は、財団管理委員会による審査が行われます。



GGGの プロジェクト ト例・写真

GGを進める上で重要な点

東京米山友愛ロータリークラブのGG実績

計4件実施済(ここ3年は毎年)、5件目も申請予定

1)2750地区のGGは恵まれている、と理解する

→他地区よりもレバレッジが効く、大型PJに挑みやすい

2) 国境を越えて信頼でき、共にPJへ取り込めるクラブを探す

(一番重要！)

→姉妹・友好クラブに限らず、先方の実行力も重要

3)信頼できるクラブと一緒にできるPJは元々人気PJ

→コミュニケーションの密度以外にも、申請進捗スピードも重要

4)より対面で交流機会を積極的に持ち、関係を深める

→国際大会での交流に加え、実際に他RCの現地訪問を続ける

オンライン申請開始までのスケジュール

- ◆ 2月3日 補助金管理セミナー
- ◆ 2月下旬 クラブIDとパスワードを配布
本マニュアルを補助金ページにUP
オンライン申請シュミレーション版利用可
- ◆ 4月1日午前
2025-26年度オンライン 申請開始

補助金申請金額・件数

DG	60件	177,700 \$	1,955万	(三浦G年度)
	65件	187,106	2,432	(富澤G年度)
	65件	206,311	2,743	(宮崎G年度)
	74件	215,336	3,306	(伊藤G年度)

GG 最近増加傾向
13件が進行中

2024～25年度での補助金の状況

1. 地区補助金(DG)

- ・74件 3300万円
- ・平和予防3件、疾病予防9件、水と衛生4件、 母子の健康0件、
基本的教育31件、地域社会21件、環境6件

2. グローバル補助金(GG)

- ・13件のプロジェクト
平和1件、疾病7件、水1件、母子2件、教育2件、
地域社会1件、環境1件

3. 報告書

- ・プロジェクト終了後1カ月以内の提出をお願いします。
- ・報告書が承認されないと翌年の申請ができません。

財団資金管理委員会

2025-26年度委員長 横山宗祐(東京田園調布RC)

国際ロータリー第2750地区
2025～26年度 ロータリー財団委員会

• 財団資金管理委員会

委員長 横山 宗祐

副委員長 大塚 豊嗣

委員 村谷 晃司 小野 邦寿

喜多 嘉則 佐々木 悟

財団資金管理委員会の役割

- ◆ 地区とクラブとの間で締結した覚書(MOU)の管理
- ◆ 地区補助金(DG)の報告書のチェック

地区の覚書(MOU)

- MOUは補助金(GG/DG)を適正に使用するという誓約書
- 補助金管理セミナーの受講が必修条件
- 参加資格は1年毎に更新されるため、毎年提出が必要
(提出期限:2025年3月31日(月))
- 原本郵送(2750地区ガバナー事務所宛)が原則ですが、PDFファイルでのメール提出も可能です。
- MOU送付先アドレス: 2750mou@gmail.com
- メールでご提出いただいた場合は、MOUの原本は各クラブで保管してください。

MOUを締結するための条件

- ◆ 補助金管理セミナーに参加すること
- ◆ MOUを理解して会長エレクト(2025-26年度会長)及び会長ノミネー(2026-27年度会長)が署名して提出すること
- ◆ MOUのコピーは5年間保管すること
- ◆ 補助金資金の使用に関しては、クラブが責任をもって管理すること
- ◆ 財団資金管理委員会の監査に協力すること

MOU提出

提出用のMOU

(本日配布しています)

提出用

承認と同意

別紙の覚書 (MOU) は、クラブと地区の間に関わられる同意書であり、補助金活動の適切な管理と財団補助金資金の適切な管理を行うための措置をクラブが取ることを認めるものである。この文書を承諾することにより、クラブは、別紙の覚書 (MOU) に記載されたすべての条件と要件 (1. クラブの参加資格、2. クラブの役員の責務、3. 財務管理計画、4. 銀行口座に関する要件、5. 補助金資金の使用に関する報告、6. 書類の保管、7. 補助金資金の不正使用に関する報告) に従うことに同意する。

_____グループ

_____ (ロータリー/ローターアクト) クラブを代表し、下記署名人は、2024 - 25 ロータリー年度、別紙の覚書 (MOU) に記載されたすべての条件と要件に従い、これらの要件に関してクラブの方針や手続きに変更や修正があった場合には、国際ロータリー第 2750 地区に通知することに同意する。

2025-26 年度クラブ会長

氏名	
署名	
日付	年 月 日

2026-27 年度クラブ会長

氏名	
署名	
日付	年 月 日

※原本を以下に郵送 (各クラブで控コピーを保管。郵送の場合はメール送信不要)

郵送先: 国際ロータリー第 2750 地区 ガバナー事務所宛

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3 階

※郵送する代わりに PDF ファイルを 2750mou@gmail.com 宛に提出することも可

締結する為の禁止事項

- 不正・偽造・会員情報の改ざん・重大な過失・不適切な行為・報告書の偽造・認められていない補助金資金使用等については参加資格が取り消される場合があります。補助金も返金対象となります
- 未使用の補助金の承認外使用
- 本来の目的と違う補助金使用
- ロータリアンの経費
- 団体が行う事業への資金提供

クラブ会長の責務

- 補助金が適切な管理において使用されるようにしてください
- 補助金に関与する(受益者・物資調達先等)すべての人がロータリアン及びロータリアンの家族・関係者であると認識される事態を避けるよう活動してください
- 申請書に記載した内容以外の目的で補助金を使用しないようにしてください

補助金の管理

- 自クラブ宛の領収書のコピーの提出をして頂きます
(領収書が提出できないときは、請求書と振込用紙)
- 当該年度0円から始まり0円で終わる専用口座の通帳のコピーを提出して頂きます
- 資金のやり取りはすべて専用口座を使用して行って頂きます
(条件を満たす場合には、ロータリーカードの使用可)

報告書について

- 地区が指定する報告書を期日までに提出してください
(プロジェクト終了後1か月以内、**最終2026年5月31日**)
- その際には補助金申請書・報告書ウェブサイト
で指定する必要書類もオンラインでご提出いただきます

監査結果と注意事項

監査による主な発見・指摘事項

- ・ 補助金受領前の支払であったが、専用口座に仮払金を入金せず、専用口座を通さずに購入先に支払われていた
- ・ 申請時の支出額と、報告時の支出額が異なっていたが、補助金委員会への事前相談がなく、理由書も添付されていなかった
- ・ 見積書や領収書が添付されていない
- ・ 出納帳の記載と通帳の金額が不一致 など

書類の保管

- ◆ 補助金活動を実施した際は書類（申請・報告書）を**10年間保管**してください。

補助金不正使用について

- 地区は各クラブが高潔性をもって資金を使用している事を前提としています。
- クラブ内にて不正使用に関する管理監督体制を構築して補助金を適切に使用するようになしてください。

国際ロータリー第2750地区 2025～26年度

補助金管理セミナー

質疑応答

国際ロータリー第2750地区 2025－26年度

閉会の辞

柳 邦明

地区ロータリー財団副委員長



国際ロータリー第2750地区 2025～26年度

ご清聴ありがとうございました。

